

三田市内にもあった！
終戦末期にかけて進められた

軍事工場用「壕」

ご一緒に、**現地視察**
をしませんか？

と き 12月15日(土)
13時、**広野市民センター**にて
ドキュメンタリー映画の視聴後に現地へ

視察先 **藍本**(車で乗り合わせて行きます)

主催：平和と憲法を守る三田市民の会
(連絡先 松岡 TEL 090-9216-8226)

カンパのお願い…私たちの「会」は、「秘密保護法に反対する三田市民の会」として、若手弁護士や学者、戦争体験者の方々など、様々な人に協力を得て平和を守り、憲法を活かす活動が続け、現在の名前に発展させて様々取り組みをしています。すべてが市民によるカンパで運営されています。

会議のための会場費、資料代、謝礼など活動を継続していくうえで、ぜひとも心温まるカンパのご協力をお願いします。



(上の写真は、藍本にある壕)



(右の写真は、三田市のものではありませんが、似たように三田市内でも工事が進められました)

国民への鼓舞と併せ、敵国(米国など)に見つかからないよう、三田市内の堅固な山中腹に戦闘機のプロペラ製造用工場用として掘り進められました。

多くの朝鮮人が徴用され作業が進められましたが途中で終戦となり、「壕」はそのまま現在まで残されています。